

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28-21	高等学校	国語	国語表現	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
50 大修館	国表307	国語表現 改訂版		

1. 編修の基本方針

- ・国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てることができるよう配慮する。
- ・教育基本法第2条に示された教育目標への対応に配慮しつつ、さまざまな内容、ジャンルの教材を幅広く取り上げる。
- ・教材化にあたっては、生徒の興味・関心を喚起しつつ、言語活動を通して生徒が主体的に学習に取り組めるよう配慮する。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第1部 表現力を培う		
1 書いて伝える	<ul style="list-style-type: none"> ・整ったわかりやすい文、他者に伝わる文を書くための基本的な知識と教養を身につけることができるよう、生徒の興味を喚起するクイズや課題を多数掲載した。(第1号) ・「表現への扉」に言葉に関する文章や統計資料を掲載することで、言葉に対する認識を深め、我が国の国語に対する知識を確かなものにし、伝統と文化を尊重する態度を育むことができるよう配慮した。(第5号) 	pp. 10-23 pp. 24-28
2 小論文・レポート入門	<ul style="list-style-type: none"> ・小論文の基礎の学習から、より説得力のある文章を書く学習、文章や統計資料を読み取って書く学習、発想法を用いて創造性を広げながら書く学習、レポートや本格的な論文を書く学習へと、ステップごとに丁寧に書き方を押さえ、論理的で説得力のある文章を書くことのできるよう配慮した。(第2号) ・「表現への扉」に、大量消費社会に対する問題意識を喚起する「『再生』は日常生活から」(安藤忠雄)、自然な感覚から離れた文明化の行き過ぎに警鐘を鳴らす「無痛文明」(森岡正博)などを位置づけ、自然を大切に、地球環境を尊重する態度を育むことができるよう配慮した(第4号) 	pp.30-56 pp.58-60
3 自己PRと面接	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身を客観的かつ肯定的にとらえ、自分を社会の中で生かしていく姿勢を育むことができるよう、ライフチャート作り、自己PR、将来の自分を考える学習、志望動機をまとめたり模擬面接を行ったりする学習を、ステップごとに丁寧に位置づけた。(第1号、第2号、第3号) ・「表現への扉」に、将来に向けての夢や希望をもつことの大切さを訴える「夢を語ろう」(野口聡一)、夢を実現するための具体的なアドバイス「なりたい『モデル』を見つけよう」(日野原重明)、働くことの意義を根本から考えさせる「働くことの意味」(内田樹)や、関連する統計資料を掲載した。(第2号) 	pp.66-81 pp.82-86
4 メディアを駆使する	<ul style="list-style-type: none"> ・手紙の基本的な形式を押さえるとともに、参考「手紙のいろいろ」で文豪の手紙などに触れることをとおして、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を育むことができるよう配慮した。(第5号) ・情報化社会において他者と円滑なコミュニケーションを行う力を身につけ、多様なメディアと上手に付き合い、膨大な情報を適切に取捨選択して使いこなす力を育むことができるよう配慮した。(第1号、第3号) 	pp. 88-93 pp. 94-106

<p>5 声とコミュニケーション</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・音声言語によるコミュニケーションの学習をととして、言語についての幅広い知識と教養を身につけるとともに、他者と伝え合うことの大切さやその喜びを、体験をととして学ぶことができるよう配慮した。(第1号、第2号、第3号) ・芥川龍之介「羅生門」「蜘蛛の糸」、木下順二「夕鶴」、尾崎紅葉「金色夜叉」、近松門左衛門の「曾根崎心中」などを掲載し、わが国の伝統的な言語文化に触れ、優れた文学作品に親しむことができるよう配慮した。(第5号) 	<p>pp. 108-126</p> <p>pp. 112-117</p>
<p>6 会話・議論・発表</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相手に応じた言葉遣いや、会議を建設的に運営するための方法、プレゼンテーションソフトなどの視覚資料を用いた効果的な発表のしかたなどを位置づけ、他者とのコミュニケーションを円滑にし、他者と協働しながら社会の一員として貢献する力を育むことができるよう配慮した。(第2号、第3号) ・「表現への扉」に、自然への好奇心の大切さを訴え、インターネットに頼りすぎることの危険性を指摘した「科学の芽を摘むインターネット」(小菅正夫)を掲載し、自然を大切に、地球環境を尊重する態度を育むことができるよう配慮した。(第4号) 	<p>pp. 128-138</p> <p>pp. 137-138</p>
<p>第2部 表現を楽しむ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとりひとりの個性を生かしながら他者と協調して表現を築き上げ、創造性、自主性、自立の精神を養うことができるよう、「1 言葉で遊ぶ」「2 詩歌を楽しむ」「3 魅力的なポスターを作ろう」「4 『わが町自慢』のパンフレット作り」「6 みんなで作ろう国語辞典」「7 『私の虫類図譜』を作ろう」「8 エッセイを書こう」「9 パロディー物語を書こう」「10 演説合戦にチャレンジ」「11 こちら悩みごと相談室」「13 劇を作ろう」などを位置づけた。(第2号) ・実際に社会で働く人に取材し、その結果を文章にまとめることを通じて、勤労を重んずる態度を養い、社会性を培うことができるよう、第2部に「5 働く人にインタビュー」を掲載した。(第2号) ・民主主義社会を支える重要な仕組みとして司法制度をとらえ、その制度を理解し支え、他者との言葉のやりとりを通して正義を実現しようとする態度を育むため、第2部に「12 開廷! 模擬裁判」を位置づけた。(第3号) 	<p>pp. 140-153</p> <p>pp. 160-177</p> <p>pp. 182-184</p> <p>pp. 154-159</p> <p>pp. 178-181</p>

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点

- ・全編を通じて色彩豊かな写真、図版、イラストなどを多用し、表現への興味を高め、積極的に学習活動に取り組む姿勢を引き出すよう配慮した。
- ・表現することへの関心を高めたり表現の参考になったりする文章や資料を、「参考」や「表現への扉」に豊富に提示し、優れた表現に触れることで表現への意欲がさらに喚起されるよう配慮した。
- ・「表現への扉」に「グラフを読む」というコーナーを設け、統計資料を的確に読み取りつつ表現につなげる力を育むことができるよう配慮した。
- ・「実践トレーニング」を2箇所設け、原稿用紙の使い方や履歴書の書き方、面接の際の言葉遣いなどについて、演習できるように配慮した。
- ・「付録」には、「敬語のまとめ」「話し合いのいろいろ」「発想法のいろいろ」「正しい表記のための用字用語ミニ辞典」「クイズで確認 間違いやすい言葉」を位置づけ、さまざまな学習場面において参照したり、自学自習で活用したりできるように配慮した。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28-21	高等学校	国語	国語表現	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
50 大修館	国表307	国語表現 改訂版		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

●基本方針

- ・国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てることができるよう配慮する。

●構成

- ・第1部「表現力を培う」においては、現代の高校生が実際の日常生活や社会生活の中で必要とされる表現力を、基礎から着実に身につけることができるよう配慮する。
- ・第2部「表現を楽しむ」においては、表現すること自体を楽しみ、学習活動への意欲を高め、他者と協調しながら主体的に学習に取り組む姿勢を育むことができるよう配慮する。

●教材化の工夫

- ・表現することへの関心を高めたり表現の参考になったりする文章や資料を、「参考」や「表現への扉」に豊富に提示し、優れた表現に触れることで表現への意欲がさらに喚起されるよう配慮する。
- ・「表現への扉」に「グラフを読む」というコーナーを設け、統計資料を的確に読み取りつつ表現につなげる力を育むことができるよう配慮する。
- ・「実践トレーニング」を2箇所設け、原稿用紙の使い方や履歴書の書き方、面接の際の言葉遣いなどについて、演習できるよう配慮する。
- ・全編を通じて色彩豊かな写真、図版、イラストなどを多用し、表現への興味を高め、積極的に学習活動に取り組む姿勢を引き出すよう配慮する。

●付録

- ・「付録」には、「敬語のまとめ」「話し合いのいろいろ」「発想法のいろいろ」「正しい表記のための用字用語ミニ辞典」「クイズで確認 間違えやすい言葉」を位置づけ、さまざまな学習場面において参照したり、自学自習で活用したりできるよう配慮する。
- ・国語によって伝え合う力を高めることを重視し、近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高め、ものの見方、感じ方、考え方を深めることができるよう配慮する。

2. 対照表													
図書の構成・内容	学習指導要領の内容										箇所	担当授業時数	
	(1)					(2)							
	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	ア	イ	ウ	エ			オ
第1部 表現力を培う													
1・書いて伝える													
レッスン1 整った文を書く				○	○	○						10～13頁	
レッスン2 わかりやすい文を書く				○	○	○						14～15頁	
レッスン3 文のつなぎ方				○	○	○						16～17頁	
レッスン4 絵や写真を見て書く				○	○	○				○		18～21頁	
■実践トレーニング(1)				○	○	○			○	○		22～23頁	
◆表現への扉 1 —表現のための第一歩—													
・「それでいいです」(香山リカ)	○	○	○	○	○	○	○			○		24～25頁	
・敬語は言葉の身だしなみ(北原保雄)	○	○	○	○	○	○	○			○		25～26頁	
・論理的な表現とは?(野矢茂樹)	○	○	○	○	○	○	○			○		26～27頁	
・グラフを読む①～②	○	○	○	○	○	○	○			○		28頁	
2・小論文・レポート入門													
レッスン1 小論文とは何か—小論文入門(1)	○		○	○	○	○			○			30～33頁	
レッスン2 反論を想定して書く—小論文入門(2)	○		○	○	○	○			○			34～37頁	
レッスン3 文章を読み取って書く—小論文入門(3)	○		○	○	○	○			○			38～41頁	
レッスン4 統計資料を読み取って書く—小論文入門(4)	○		○	○	○	○			○			42～45頁	
レッスン5 発想を広げて書く—小論文入門(5)	○		○	○	○	○			○			46～49頁	
レッスン6 レポートを書く	○		○	○	○	○			○	○		50～53頁	
レッスン7 論文を書くために	○		○	○	○	○			○	○		54～56頁	
◆表現への扉 2 —小論文を書くために—													
・ファストフィッシュ(新聞記事より)	○	○	○	○	○	○			○			57頁	
・「再生」は日常生活から(安藤忠雄)	○	○	○	○	○	○			○			58頁	
・無痛文明(森岡正博)	○	○	○	○	○	○			○			59～60頁	
・情報化社会と考える精神(有山輝雄)	○	○	○	○	○	○			○			60～61頁	
・コインは円形か?(佐藤信夫)	○	○	○	○	○	○			○			61～62頁	
・グラフを読む③～⑤	○	○	○	○	○	○			○		○	63～64頁	
3・自己PRと面接													
レッスン1 自分を見つめて	○			○	○	○				○		66～67頁	
レッスン2 効果的な自己PR	○		○	○	○	○	○		○	○		68～69頁	
レッスン3 将来の自分を考えよう	○		○	○	○	○	○		○	○		70～71頁	
レッスン4 志望動機をまとめよう	○		○	○	○	○	○		○	○		72～74頁	
レッスン5 面接にチャレンジ				○	○	○	○			○		75～77頁	
【参考】履歴書の書き方	○	○							○	○		78～79頁	
■実践トレーニング(2)				○	○	○				○		80～81頁	
◆表現への扉 3 —自己を見つめる—													
・夢を語ろう(野口聡一)	○	○	○	○	○	○	○		○			82～83頁	
・なりたい「モデル」を見つけよう(日野原重明)	○	○	○	○	○	○	○		○			83～84頁	
・働くことの意味(内田 樹)	○	○	○	○	○	○	○		○			84～85頁	
・グラフを読む⑥	○	○	○	○	○	○	○		○		○	86頁	
4・メディアを駆使する													
レッスン1 通信文を書き分ける—手紙のいろいろ			○	○	○	○				○		88～91頁	
【参考】手紙のいろいろ			○	○	○	○				○		92～93頁	
レッスン2 電話を使いこなす				○	○	○				○		94～95頁	
レッスン3 ネット社会とコミュニケーション	○	○	○	○	○	○	○		○		○	96～99頁	
レッスン4 メディアと情報	○	○	○	○	○	○	○		○		○	100～101頁	
◆表現への扉 4 —メディアを考える—													
・心に残る手紙を書こう(黛まどか)	○	○	○	○	○	○	○					102～103頁	
・メディアって何?(荻上チキ)	○	○	○	○	○	○	○					103～104頁	
・すべては編集されている(池上 彰)	○	○	○	○	○	○	○					104～105頁	
・進化(太田 光)	○	○	○	○	○	○	○					105～106頁	
・グラフを読む⑦	○	○	○	○	○	○	○		○		○	106頁	

図書の構成・内容	学習指導要領の内容										箇所	担当授業時数	
	(1)					(2)							
	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	ア	イ	ウ	エ			オ
5・声とコミュニケーション													
レッスン1 言葉のストレッチ体操				○	○	○				○		108～111頁	
レッスン2 リーダーズシアターを開こう——朗読劇の楽しみ				○	○	○		○		○		112～113頁	
【参考】リーダーズシアター場面集													
・ウォーミングアップ【早口言葉／蜘蛛の糸（芥川龍之介）】				○	○	○		○				114頁	
・夕鶴（木下順二）				○	○	○		○				114～115頁	
・ロミオとジュリエット（シェークスピア）				○	○	○		○				116頁	
・金色夜叉（尾崎紅葉）				○	○	○		○				117頁	
・道行【曾根崎心中】（近松門左衛門）				○	○	○		○				117頁	
レッスン3 ショートスピーチをしよう	○			○	○	○	○			○		118～119頁	
【参考】物だって生き活きしていた（高橋源一郎）	○			○	○	○	○			○		120～121頁	
◆表現への扉 5 —コミュニケーションのヒント—													
・話すときのツボ（中田 薫）	○	○	○	○	○	○	○		○			122～123頁	
・非言語コミュニケーション（大山茂夫）	○	○	○	○	○	○	○		○			123～124頁	
・間の大切さ（竹内一郎）	○	○	○	○	○	○	○		○			124～125頁	
・聞く力（阿川佐和子）	○	○	○	○	○	○	○		○			125～126頁	
6・会話・議論・発表													
レッスン1 相手や場面に応じた会話		○		○	○	○	○					128～129頁	
レッスン2 建設的な議論の進め方		○		○	○	○	○					130～131頁	
レッスン3 プレゼンテーションの工夫	○	○		○	○	○	○				○	132～135頁	
◆表現への扉 6 —議論・発表のために—													
・迷惑行為にどう対処するか（北川達夫）	○	○	○	○	○	○	○		○		○	136～137頁	
・科学の芽を摘むインターネット（小菅正夫）	○	○	○	○	○	○	○		○		○	137～138頁	
・グラフを読む⑧	○	○	○	○	○	○	○		○		○	138頁	
第2部 表現を楽しむ													
1 言葉で遊ぶ——回文・折句・しりとりなど				○	○	○	○	○		○	○	140～143頁	
2 詩歌を楽しむ		○		○	○	○	○	○			○	144～147頁	
3 魅力的なポスターを作ろう	○	○	○	○	○	○	○			○	○	148～150頁	
【参考】コピー誕生の瞬間（蓑田雅之）	○	○	○	○	○	○	○			○	○	151頁	
4 「わが町自慢」のパンフレット作り	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	152～153頁	
5 働く人にインタビュー	○		○	○	○	○		○	○	○	○	154～156頁	
【参考】人生は喜ばせごっこ（やなせたかしインタビュー）	○		○	○	○	○		○	○	○	○	157～159頁	
6 みんなで作ろう国語辞典	○	○		○	○	○			○	○		160～161頁	
7 「私の虫類図譜」を作ろう	○		○	○	○	○		○			○	162～163頁	
8 エッセイを書こう	○		○	○	○	○		○				164～165頁	
・名の世界（角田光代）	○		○	○	○	○		○				164～165頁	
・目玉焼きの正しい食べ方（伊丹十三）	○		○	○	○	○		○				166～167頁	
・揃える（赤瀬川原平）	○		○	○	○	○		○				167～168頁	
・夕陽の輝き（黒柳徹子）	○		○	○	○	○		○				169頁	
9 パロディー物語を書こう	○		○	○	○	○		○				170～171頁	
10 演説合戦にチャレンジ	○	○		○	○	○	○			○	○	172～174頁	
【参考】ディベートを楽しむ	○	○		○	○	○	○			○	○	175頁	
11 こちら悩みごと相談室	○		○	○	○	○				○		176～177頁	
12 開廷！模擬裁判	○	○		○	○	○	○			○		178～181頁	
13 劇を作ろう	○	○		○	○	○		○		○	○	182～184頁	